

「原価管理とコストダウン」

開催日時：令和7年12月16日（火）9:30～16:30（申込締切日：令和7年11月25日（火））
 訓練会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：管理者層

ねらい：低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト(費用削減)と生産性(業務効率向上)の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。

基本項目	主な内容
1 原価管理とは	(1) 原価管理の基礎知識 ・原価管理の目的と重要性について解説。 ○工場の原価管理 (2) 経営視点の原価 ・経営視点の変動費、固定費、限界利益、損益分岐点の考え方による利益体質の改善について解説。 (3) 原価の構成と原価計算 ・製品原価と構成要素である「材料費、労務費、経費」のつながり、目的に応じた原価の考え方、原価計算方法について解説。 ○原価の構成 ○原価計算の方法 ○見積・査定業務
2 コスト削減	(1) コスト削減の着眼点 ・「利益」を生み出す2つの手段 ・原価の3要素区分による現状把握と課題の明確化 ・見える化とアイデアの抽出 (2) コストダウン活動 ・コストダウン手法・コストダウンの具体的切り口について解説。ムダの改善、進め方・改善の着眼点 ・改善のステップ ・改善の3原則 ・経済動作の4原則
3 IE手法による標準時間設定方法	(1) IE (Industrial Engineering) とは ・生産現場の多くで活用されているIE (Industrial Engineering)に係る基本的な考え方を解説。 ○IEとは ○IEの実践手法について (2) 標準時間・余裕率の設定方法 ・標準時間の目的及び考え方と設定手法及び標準時間/余裕率の設定方法について解説。 ○標準時間/余裕率とは ○標準時間/余裕率 設定の考え方

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介



松井 正義 / パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社

今までの簡易的な経歴：パナソニックでプラスチック金型設計と成型技術に従事。モータ応用商品の企画・開発設計を担当。海外推進チームのリーダーとしてタイ、マレーシア、インドネシアで工場立上げ指導。生産管理、資材調達、工場管理責任者を務め、2011年からは上席講師として研修を担当し、現在も継続中。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

- ・製品の原価管理と経営判断の原価視点を解説し、経営センスを磨いていただきます。
- ・原価管理をコストと生産性の観点から、収益向上のポイントを習得できる内容にしました。
- ・損益について工程費削減/経費削減の視点から理解を深めて頂きます。
- ・IEは職場で実践していただくために、実践ですぐに使えるツールを演習や動画で紹介し、モーションマインドも習得していただきます。